

機械器具 09 画像診断用イメージャ (70036000)
一般医療機器 特定保守管理医療機器

レーザーイメージャー DRYPRO MODEL 771

【形状、構造及び原理等】

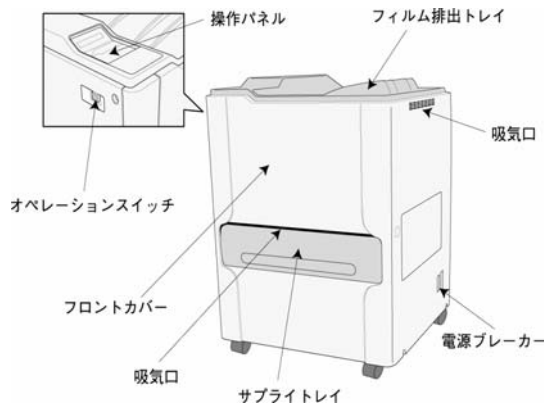
1. 形状、構造

1) 画像診断用イメージャー レーザーイメージャーDRYPRO MODEL 771 (以下 DRYPRO 771 という) は、以下のユニットにより構成される。

(1) サプライ部	1 式
(2) 下降搬送部	1 式
(3) 電装部	1 式
(4) 露光部	1 式
(5) 上昇搬送部	1 式
(6) 熱現像部	1 式
(7) 排出搬送部	1 式
(8) 操作パネル/メッセージ表示部	1 式

詳細は取扱説明書を参照してください。

2) 各部の名称



3) 電気定格

定格電圧： 単相 AC 100V
周波数： 50 又は 60 Hz
電源入力： 0.7 KVA

4) 本体寸法及び重量

〈架台なし〉
外形寸法 (mm)： 幅 630 x 奥行 600 x 高 850
重量： 約 155kg
〈架台あり〉
外形寸法 (mm)： 幅 630 x 奥行 600 x 高 1125
重量： 約 175kg

2. 原理

DRYPRO 771 を施設内の通信網に接続し、通信先からの指令で受信した画像データを自動的にフィルムにプリントして排出する。露光部ではレーザー光でフィルムにプリントし、現像部で熱現像処理を行い、排出部にフィルムを排出する。電装部は画像データの処理と管理、及び全体の制御を行う。

【使用目的、効能又は効果】

DRYPRO 771 は病院等の放射線科で使用し、画像診断装置等から受けた画像信号をフィルムにプリントすることを目的としたものである。

【品目仕様等】

形態	: ドライ方式
使用可能フィルム	: 3 種類 (各種 3 サイズ)
処理能力	: 約 110 枚/時 (半切を連続コピー時)
フィルムサプライ	: トレイ方式 (1 トレイ)
出力階調	: 16384 階調 (14 ビット)

【操作方法又は使用方法等】

1. 使用環境条件

温度	: 15~30 °C
湿度	: 30~70 %RH (結露なきこと)
電源電圧	: 単相 AC 100V ±10%

2. 操作方法手順

(1) 使用前

① 電源投入前に、電源ケーブル及び外部装置との通信ケーブルが正しく接続されていることを確認する。

(2) 起動

- ① DRYPRO 771 本体右側面下の電源ブレーカーを ON にする。
- ② DRYPRO 771 本体左側面上部にあるオペレーションスイッチを 1 秒以上押す。
- ③ ウォームアップが完了すると、表示部に "READY" が表示されプリント可能となる。

(3) 終了

- ① 表示部に "PRINTING" と表示がないことを確認する。
- ② オペレーションスイッチを 1 秒以上押し、終了する。

詳細は取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】

1. DRYPRO 771 を使用の際は、設置環境 (温度、湿度、電源定格) を守ること。
2. フィルムは DRYPRO 771 に適合した製品を使用すること。
3. DRYPRO 771 のアースが確実に接続されていることを確認すること。
- * 4. 全てのコード類の接続が確実に、正確に行われていることを確認すること。付属の電源ケーブルは本装置専用のため、他の装置に使用しないこと。
5. 装置を使用する前に必ず始業点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。
6. DRYPRO 771 に不具合が発生した場合は、電源を切り「故障中」等の適切な表示を行い最寄りの弊社サービス窓口へ連絡すること。
7. DRYPRO 771 本体のカバーを開けた状態で使用しないこと。
8. 清掃、点検の際は必ず電源を切ること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

9. フィルム交換の際にはバリアシート、紙トレイの取扱いに注意すること。
10. トレイを開めるときには手をはさまないように十分注意すること。
11. DRYPRO 771 の傍で携帯電話など電磁波を発生する機器使用は、本装置に障害をおよぼす恐れがあるので使用しないこと。
12. DRYPRO 771 は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
13. プリントしたフィルムは患者情報等を確認したうえで使用すること。
14. 画像出力後のフィルムは、フィルム排出トレイに長時間（1時間以上）放置しないこと。
15. 未使用のフィルム、及び本装置でプリントしたフィルムの取り扱いについては取扱説明書に従うこと。
16. DRYPRO 771 を廃棄する場合は、産業廃棄物となる。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。
17. フィルムを廃棄する際は、認定された廃棄物処理業者に処理を委託するか、自家処理の場合は産業廃棄物として、必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼すること。

詳細は取扱説明書を参照してください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 保管方法

- ①水のかからない場所に保管してください。
- ②気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管してください。
- ③傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意してください。
- ④化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

2. 保管環境条件

温度： -20～60 ℃
湿度： 20～90 %RH（結露なきこと）

【貯蔵方法及び有効期間等】

1. 耐用期間

指定された保守点検を実施した場合に限り6年間です。
（自己認証（当社データ）による）

2. 主な定期交換部品

項目	交換周期
①熱現ドラム軸受け	2万枚プリント
②分離ユニット	2万枚プリント
③除電ブラシ	4万枚プリント
④不織布シート	4万枚プリント
⑤不織布固定パネ	4万枚プリント
⑥ハードディスク	5年または通電2万時間
⑦脱臭フィルター	1万枚プリントまたは6ヶ月
⑧脱臭フィルターケース	4万枚プリントまたは2年

詳細は取扱説明書を参照してください。

【保守点検に係る事項】

1. DRYPRO 771 の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
2. 使用者による日常及び定期点検を必ず行ってください。点検、清掃の際は粉塵等が飛散する場合がありますので、マスク等の保護具を着用してください。
3. 使用者による保守点検項目

項目	点検頻度
①SMPTE パターンのプリントと濃度チェック	1週間
②サブライトレイの清掃	3ヶ月
③フィルム排出トレイの清掃	3ヶ月
④吸気口/排気口の清掃	6ヶ月
⑤脱臭フィルターの交換	6ヶ月又は1万枚プリント

4. 業者による主な保守点検項目

項目	点検頻度	
熱現像部	対向ローラー	2万枚プリント毎
	熱現ドラム	2万枚プリント毎
	ドラム軸受け	2万枚プリント毎
	分離ユニット	2万枚プリント毎
	不織布シート	4万枚プリント毎
	不織布固定パネ	4万枚プリント毎
脱臭部	脱臭フィルターケース	4万枚プリント毎
	脱臭フィルターケース周辺	2万枚プリント毎
電装部	ハードディスク	通電2万時間または5年毎
サブライ部	吸盤	2万枚プリント毎

詳細は取扱説明書を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者名： コニカミノルタエムジー株式会社
住 所： 〒191-8511 東京都日野市さくら町1番地
電 話 番 号： 042-589-8421

製造業者名： コニカミノルタテクノプロダクト株式会社
住 所： 〒350-1328 埼玉県狭山市広瀬台2-2-1
電 話 番 号： 04-2954-8869

取扱説明書を必ずご参照ください